

下山地区の 定住促進に取組む組織

リラックス
里楽暮住しもやま会



里楽暮ら？（会の語源）

しもやま住んでみりん定住促進計画の将来像より



里の恵みと地域の絆に包まれて

自分らしく（**楽**しく）暮らしへ（**住**み）

続けられるまち



リラックス

里 楽 暮 住しもやま会

設立の経緯

平成21年

地域会議において、地域課題の解決として定住促進について検討しました。

平成22年

30集落及び代表者でワークショップを行い、「しもやま住んでみりん定住促進計画」を策定し、この計画の中で、推進組織の設立が提案されました。

平成23年6月

定住促進や地域活性化を推進するため里楽暮住しもやま会を設立しました。

組織の概要

目的

地域の魅力を存分に生かして、集落の暮らしを守り下山全体の活性化につなげることで、地域ぐるみによる定住を図ること。

メンバー

各自治区や地域会議からの推薦により、17名（平成29年度）が選ばれています。

会議

毎月部会ごとに開催（全体会は年間6回設定）

過去の主な取組

- ・集落カルテの作成
- ・リーダー養成のための勉強会、視察の実施
- ・2戸2戸作戦小規模宅地分譲事業の推進
- ・婚活イベント「しもコン」の実施
- ・空き家、空き地の発掘
- ・新成人等、定住に関するアンケートの実施
- ・しもやま支所だより等による情報発信

婚活イベント「しもコン」の実施

昨年の8月に腰掛山荘で下山地区の20代～40代の独身男性16人を対象とした婚活イベントを開催。女性は愛知県内から同年代の20人が集まりました。

バーベキューをしながら終始和やかな雰囲気で会話も弾み、ご縁つなぎでは、4組のカップルが成立し、その後1組が入籍しました♪



中学生との意見交換

昨年の3月に下山中学校の1年生を対象に、意見交換会を実施予定。下山地区の良さ（良い所）を再認識し、ふるさとを大切にする愛郷心を育むことが目的。

新たな取り組みとして、本日の鯉恋まつりで、中学生と一緒にあって「しもやま」をPRしています。



昨年の意見交換会の様子

空き家・空き地の発掘と調査票のまとめ

調査の結果、空き家37戸、空き地8箇所を発掘することができました。しかし、空き家及び空き地の状態は日々変化していきます。

物件ごとの情報をそれぞれ個別の票にし、情報の追加や更新することにより、発掘した物件を活かしていきます。

また、物件が出ていない地域を中心、更なる物件の発掘と情報収集に努めています。

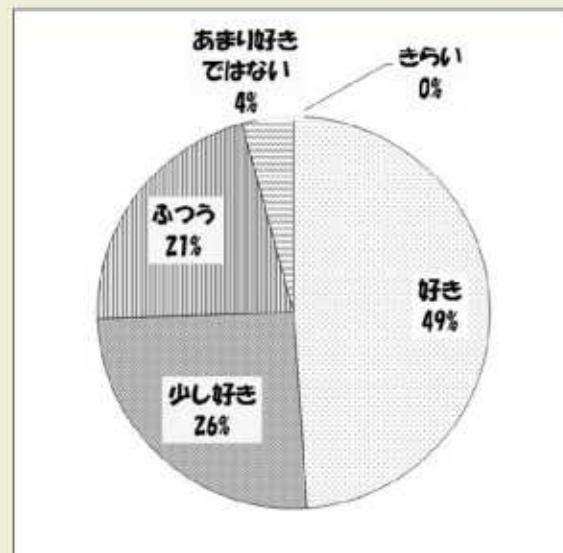


新成人へのアンケート調査

昨年の1月に新成人に対して、下山地区の定住に関するアンケートを実施しました。

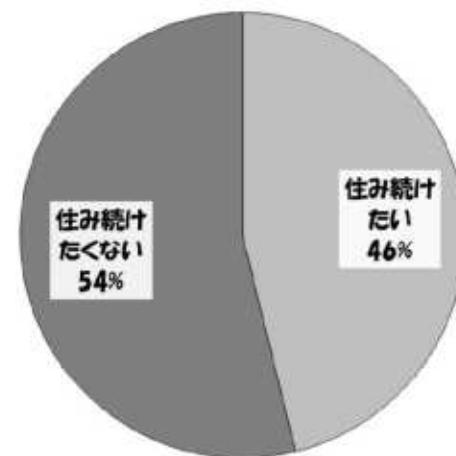
全員に対し、

Q. 下山は好きですか？



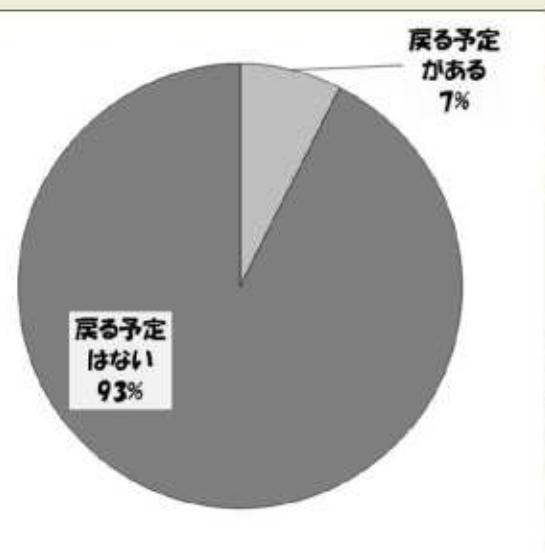
下山に住んでいる人に対し、

Q. 将来も、下山地区に住み続けたいと思
いますか？



下山に住んでいない人に対し、

Q. 将来、下山に戻る予定は？



29年度組織改革（部会方式での活動）

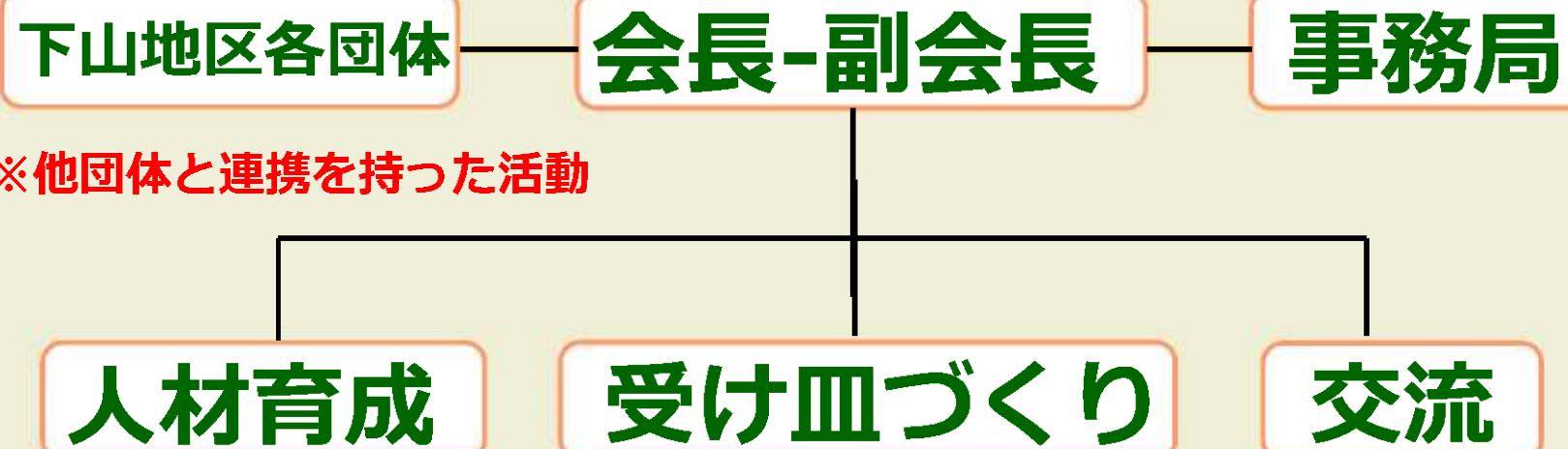
里楽暮住しもやま会は下山地域の定住促進を加速するため、組織改革をし、人材育成、受け皿づくり、交流の3つの部会に分かれて、活動していきます。

人材育成

受け皿づくり

交流

里楽暮住しもやま会 活動体系



29年度の主な取組み

※スピード感を持った活動

- ・定住に関する勉強会の実施
- ・中学生との意見交換
- ・新成人へのアンケート調査
- ・空き家、空き地の発掘とバンク登録
- ・体験宿泊型交流イベントの実施

活動目標と骨子

29年度活動目標：各自治区、1世帯子育て世代を受け入れる

～スピード感を持って活動は楽しく、やるときは真剣に！Only～
～各自治区長が熱い広告塔になっていただく事

活動骨子

3グループ並列活動で、グループが主役の活動とする

最重要

受け皿グループ

空き家・空き地のバンク登録促進のための仕組みづくり

交流グループ

子育て世代の定住促進のため、近隣都市部からの移住希望者向けの広告塔

人材育成グループ

定住促進のため、地元人がしもやまの魅力を発信アピールできる人づくり